

〈図画工作科〉 5年

現在の分析

〈造形への関心・意欲・態度〉

- ・意欲的で、新たな課題に熱心に取り組み造形活動全般に関心を持っている児童が多い。

〈発想や構想の能力〉

- ・材料やテーマからイメージを広げ、表したいことを考えたり、様々な方法を試したりして自分なりに豊かに発想することができる。

〈創造的な技能〉

- ・造形感覚を働かせて、テーマにあわせて、自分なりの色や形による表現ができる。また、新しい材料や新しい表現方法にも積極的にいかわり、それを組み合わせたりして自分で色々な表現方法に挑戦している。

〈鑑賞の能力〉

- ・自分の作品や友達の作品のよさや工夫したところに気付き、感じ取ることができる。

重点課題

〈造形への関心・意欲・態度〉

- ・題材によって、与えられた課題や材料、環境などに対して、個々での深まりが足りないことがある。様々に試行錯誤しながら活動の幅を広げられるようにすることが課題である。

〈発想や構想の能力〉

- ・材料の色や形などの特徴を利用して活動することはできているが、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことに結び付けることが難しい。

〈創造的な技能〉

- ・材料や用具を活用するとともに全学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に活かす経験が必要である。

〈鑑賞の能力〉

- ・生活の中の造形などの造形的な良さや美しさを感じ取ることができている。表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、より、自分の見方や感じ方を広げられるようにする。

授業改善策

〈造形への関心・意欲・態度〉

- ・課題把握をするための導入や材料の提示、出合わせ方を工夫する。
- ・スモールステップでの進め方や選択肢の例示等、個に合わせた支援をし、表現する喜びが感じられるように意欲づけする。

〈発想や構想の能力〉

- ・着想や発想、活動のイメージがもてるよう、題材との出会いや、導入の工夫をする。
- ・見通しを持たせるための板書の工夫やワークシートの工夫をする。
- ・ゲームや遊びの要素を持った題材の工夫をする。

〈創造的な技能〉

- ・いろいろな道具の安全な使い方を身につけることができるような題材を扱う。
- ・材料や道具を自分の表現方法に合わせて選択できるような場の設定や題材の工夫をする。
- ・難しい技法では段階的に挑戦させながら道具の扱いに慣れさせ、抵抗感なく取り組ませる。
- ・児童が自身で表し方やそれに合う用具を選べるような題材設定をし、既習の技能を使える場面を設ける。

〈鑑賞の能力〉

- ・互いの作品を見合う場を活動中や活動後に設定し、自分の表したいことや友達の作品のよさを文字や言葉にして伝え合う。